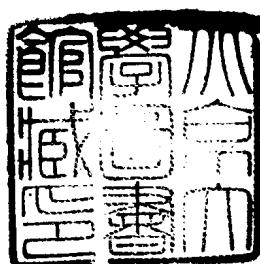


中華大藏經

中華大藏經編輯局編

中華大藏經

漢文部分
七〇



中華書局

內封題簽 李一氓
裝幀設計 伍端端

中華大藏經

(漢文部分)

第七〇冊

《中華大藏經》編輯局編

中華書局出版

(北京王府井大街36號)

新華書店北京發行所發行

上海市印刷七廠印刷

787×1092毫米幅·63 3/4印張·插頁2

1993年6月第1版 1993年6月上海第1次印刷

印數1—720冊 定價：200元

ISBN 7—101—01135—7 / B·225

中華大藏經（漢文部分）

第七十冊目錄

校勘記

卷五（徑山藏本）

校勘記

卷六 (金藏廣勝寺本)

千字文編次 践——刑

踐

一六五〇 大方廣佛華嚴經合論 一百二

十卷

唐于闐國三藏沙門實義

難陀譯經

唐太原方山長者李通玄造論

唐福州開元寺沙門志寧贊

經合論

寺本

寺本

卷三 (金藏廣勝寺本)

校勘記

卷四 (金藏廣勝寺本)

目 錄

二

世主妙嚴品第一之五

九四

校勘記

土

卷一三 (金藏廣勝寺本)

一〇五

世主妙嚴品第一之六

一〇〇

校勘記

卷一四 (徑山藏本)

一一〇

世主妙嚴品第一之七

一一一

校勘記

卷一五 (徑山藏本)

一二〇

世主妙嚴品第一之八

一二一

校勘記

卷一六 (金藏廣勝寺本)

一二二

世主妙嚴品第一之九

一二三

校勘記

卷一七 (金藏廣勝寺本)

一二四

世主妙嚴品第一之十

一二五

校勘記

卷一八 (金藏廣勝寺本)

一二六

如來現相品

毗盧遮那品第六

卷一九 (金藏廣勝寺本)

一五五

校勘記

如來現相品第二之餘

一五六

普賢三昧品第三

一五六

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一五六

世界成就品第四

一五六

校勘記

會

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一七〇

華藏世界品第五

一七〇

校勘記

卷二二 (徑山藏本)

一七一

華藏世界品第五之二

一七一

校勘記

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一七二

華藏世界品第五之三

一七二

校勘記

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一七三

一九四

一四九

卷一三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷一四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷一五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷一六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷一七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷一八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷一九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二四 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二五 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二六 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二七 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二九 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二〇 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二一 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二二 (金藏廣勝寺本)

一四九

一四九

卷二三 (金藏廣勝寺本)

校勘記

一九九

卷三〇 (金藏廣勝寺本)

二四一

卷二五 (金藏廣勝寺本)

二〇〇

賢首品第十二之二

二四七

佛名號品第七

二〇六

校勘記

二四一

卷二六 (徑山藏本)

二〇七

卷三一 (金藏廣勝寺本)

二四八

佛名號品第七之餘

二〇八

賢首品第十二之三

二四八

卷二七 (金藏廣勝寺本)

二〇九

昇須彌山頂品第十三

二四九

卷二八 (金藏廣勝寺本)

二一〇

須彌頂上偈讚品第十四

二五〇

光明覺品第九

二一一

卷三二 (徑山藏本)

二五二

校勘記

二一二

須彌頂上偈讚品第十四之餘

二五三

光明覺品第九之餘

二一三

十住品第十五

二五四

菩薩問明品第十

二一四

卷三三 (金藏廣勝寺本)

二五五

校勘記

二一五

十住品第十五之餘

二五六

卷二九 (金藏廣勝寺本)

二一六

卷三四 (徑山藏本)

二五七

菩薩問明品第十之餘

二一七

梵行品第十六

二五八

淨行品第十一

二一八

初發心功德品第十七

二五九

賢首品第十二之一

二二〇

校勘記

二二一

校勘記

二二二

卷三五 (金藏廣勝寺本)

二二三

目 錄

初發心功德品第十七之餘

明法品第十八

校勘記

二八七

卷四一（金藏廣勝寺本）

何

校勘記

三四四

昇兜率天宮品第二十三之餘

三四四

卷三六（徑山藏本）

校勘記

二九一

明法品第十八之餘

校勘記

二九四

昇夜摩天宮品第十九

校勘記

二九五

明法品第十八之餘

校勘記

二九五

昇夜摩天宮品第十九

校勘記

二九五

明法品第十八之餘

校勘記

二九六

夜摩天宮偶讚品第二十

校勘記

二九六

夜摩天宮偶讚品第二十

校勘記

二九七

十行品第二十一

校勘記

二九七

十行品第二十一

校勘記

二九八

卷三七（徑山藏本）

校勘記

二九八

卷三七（徑山藏本）

校勘記

二九九

卷三八（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

卷三八（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

十行品第二十一之餘

校勘記

二九九

十行品第二十一之餘

校勘記

二九九

卷三九（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

十無盡藏品第二十二

校勘記

二九九

卷四〇（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

昇兜率天宮品第二十三

校勘記

二九九

卷四〇（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

昇兜率天宮品第二十三

校勘記

二九九

卷四一（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

卷四一（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

卷四二（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

兜率天宮偶讚品第二十四

校勘記

二九九

十迴向品第二十五之一

校勘記

二九九

卷四三（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

十迴向品第二十五之二

校勘記

二九九

卷四四（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

十迴向品第二十五之三

校勘記

二九九

卷四五（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

十迴向品第二十五之四

校勘記

二九九

卷四六（金藏廣勝寺本）

校勘記

二九九

十迴向品第二十五之五

校勘記

二九九

卷四六（金藏廣勝寺本）

校勘記

卷四七 (徑山藏本)

十迴向品第二十五之六

三八九

十迴向品第二十五之十二

四三八

校勘記

三八九

校勘記

四四二

卷四八 (徑山藏本)

十迴向品第二十五之七

四〇〇

卷五四 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之二

四四五

校勘記

四一二

卷五五 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之三

四四五

卷四九 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之八

四一三

卷五六 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之四

四五一

卷五十 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之九

四一九

卷五七 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之五

四五四

卷五八 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之六

四二三

卷五九 (徑山藏本)

十地品第二十六之七

四四五

卷五〇 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之九

四一八

卷五六 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之四

四五七

卷五十一 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之十

四二三

卷五七 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之五

四五八

卷五八 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之六

四二四

卷五九 (徑山藏本)

十地品第二十六之七

四五九

校勘記

四二二

校勘記

四六四

卷五二 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之十一

四二四

卷五六 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之五

四六五

卷五三 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之十二

四三一

卷五七 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之六

四六六

校勘記

四三一

卷五八 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之六

四六七

校勘記

四三一

卷五九 (徑山藏本)

十地品第二十六之七

四六八

卷五三 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之十二

四三一

卷五六 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之五

四六九

校勘記

四三一

卷五九 (徑山藏本)

十地品第二十六之七

四七〇

卷五三 (金藏廣勝寺本)

十迴向品第二十五之十二

四三一

卷五六 (金藏廣勝寺本)

十地品第二十六之五

四七一

目 錄

卷六〇 (金藏廣勝寺本)	四九一	卷六六 (金藏廣勝寺本)	五三五
十地品第二十六之八	四九二	十地品第二十六之十四	五三五
校勘記	四九二	校勘記	五四二
約	四九八	卷六七 (金藏廣勝寺本)	五四二
卷六一 (金藏廣勝寺本)	四九九	十定品第二十七之一	五四一
十地品第二十六之九	五〇五	校勘記	五四八
校勘記	五〇六	卷六八 (金藏廣勝寺本)	五四九
卷六二 (金藏廣勝寺本)	五〇六	十定品第二十七之二	五五五
十地品第二十六之十	五一二	校勘記	五五六
校勘記	五一二	卷六九 (金藏廣勝寺本)	五六一
卷六三 (金藏廣勝寺本)	五一三	十定品第二十七之三	五六一
十地品第二十六之十一	五二〇	校勘記	五六一
校勘記	五二一	卷七〇 (徑山藏本)	五六一
卷六四 (金藏廣勝寺本)	五二一	十定品第二十七之四	五六一
十地品第二十六之十二	五二一	校勘記	五六一
校勘記	五二八	法	五六一
卷六五 (金藏廣勝寺本)	五二七	卷七一 (金藏廣勝寺本)	五六一
十地品第二十六之十三	五二八	十定品第二十七之五	五六一
校勘記	五二八	校勘記	五六一
卷六六 (金藏廣勝寺本)	五三四	十通品第二十八	五六一
十地品第二十六之十四	五三五		五六一
校勘記	五三五		五六一

卷七二	(金藏廣勝寺本)	五八〇	如來隨好光明功德品第三十五之餘	六二五
十忍品第二十九		五八一	普賢行品第三十六	六二八
校勘記		五八六	校勘記	六三九
卷七三	(金藏廣勝寺本)	五八七	如來出現品第三十七之一	六四〇
阿僧祇品第三十		五八八	校勘記	六四五
壽量品第三十一		五九一	如來出現品第三十七之二	六五三
菩薩住處品第三十二		五九二	校勘記	六六〇
校勘記		五九三	如來出現品第三十七之三	六六八
卷七四	(徑山藏本)	五九四	校勘記	六六七
佛不思議法品第三十三之一		五九五	如來出現品第三十七之四	六六六
校勘記		五九六	校勘記	六八〇
卷七五	(徑山藏本)	五九七	如來出現品第三十七之五	六八一
佛不思議法品第三十三之餘		五九八	校勘記	六八六
如來十身相海品第三十四		五九九	如來出現品第三十七之六	六八七
校勘記		六〇〇	校勘記	六八八
卷七六	(金藏廣勝寺本)	六〇一	如來出現品第三十七之七	六八九
如來十身相海品第三十四之餘		六〇二	校勘記	六九〇
如來隨好光明功德品第三十五		六〇三	如來出現品第三十七之八	六九一
校勘記		六〇四	校勘記	六九二
卷七六	(金藏廣勝寺本)	六〇五	如來出現品第三十七之九	六九三
如來十身相海品第三十四之餘		六〇六	校勘記	六九四
如來隨好光明功德品第三十五		六〇七	如來出現品第三十七之十	六九五
校勘記		六〇八	校勘記	六九六
卷七八	(金藏廣勝寺本)	六〇九	如來出現品第三十七之十一	六九七
離世間品第三十八之一		六一〇	校勘記	六九八
校勘記		六一一	如來出現品第三十七之十二	六九九
卷八一	(金藏廣勝寺本)	六一二	校勘記	七〇〇
離世間品第三十八之一		六一三	如來出現品第三十七之十三	七〇一
校勘記		六一四	校勘記	七〇二
卷八二	(金藏廣勝寺本)	六一五	如來出現品第三十七之十四	七〇三
離世間品第三十八之二		六一六	校勘記	七〇四
校勘記		六一七	如來出現品第三十七之十五	七〇五

目 錄

八

卷八三 (金藏廣勝寺本)	六九四	校勘記
離世間品第三十八之三	六九四	
校勘記	六九九	入法界品第三十九之三
離世間品第三十八之四	七〇〇	校勘記
校勘記	七〇〇	弊
卷八四 (金藏廣勝寺本)	七〇〇	
離世間品第三十八之五	七〇七	校勘記
校勘記	七一〇	
卷八五 (金藏廣勝寺本)	七〇六	
離世間品第三十八之六	七一三	校勘記
校勘記	七一二	
卷八六 (金藏廣勝寺本)	七一九	
離世間品第三十八之六	七二〇	校勘記
校勘記	七二六	
卷八七 (金藏廣勝寺本)	七二七	
離世間品第三十八之七	七二〇	校勘記
校勘記	七三三	
卷八八 (金藏廣勝寺本)	七三四	
法界品第三十九之一	七三四	校勘記
校勘記	七三四	
卷八九 (金藏廣勝寺本)	七三四	
入法界品第三十九之二	七三四	校勘記
入法界品第三十九之二	七三四	
卷九〇 (金藏廣勝寺本)	六九四	校勘記
入法界品第三十九之三	七四二	
校勘記	七四二	
卷九一 (金藏廣勝寺本)	七四五	
入法界品第三十九之四	七五六	校勘記
校勘記	七五六	
卷九二 (徑山藏本)	七五七	
入法界品第三十九之五	七五六	校勘記
校勘記	七五六	
卷九三 (徑山藏本)	七五七	
入法界品第三十九之六	七五六	校勘記
校勘記	七五六	
卷九四 (金藏廣勝寺本)	七八〇	
入法界品第三十九之七	七八〇	校勘記
校勘記	七八六	
卷九五 (徑山藏本)	七八六	
入法界品第三十九之八	七八七	校勘記
入法界品第三十九之八	七八八	
卷九六 (徑山藏本)	七八八	

入法界品第三十九之九

校勘記

八六四

校勘記

卷一〇三 (金藏廣勝寺本)

八六五

卷九七 (徑山藏本)

入法界品第三十九之十六

八六六

入法界品第三十九之十

校勘記

八六七

校勘記

卷一〇四 (金藏廣勝寺本)

八六八

卷九八 (徑山藏本)

入法界品第三十九之十七

八六九

入法界品第三十九之十一

校勘記

八七〇

卷九九 (金藏廣勝寺本)

入法界品第三十九之十二

八七一

卷一〇〇 (徑山藏本)

校勘記

八七二

入法界品第三十九之十三

校勘記

八七三

卷一〇一 (金藏廣勝寺本)

校勘記

八七四

卷一〇二 (徑山藏本)

煩

八七五

卷一〇三 (金藏廣勝寺本)

校勘記

八七六

卷一〇四 (金藏廣勝寺本)

煩

八七七

卷一〇五 (金藏廣勝寺本)

校勘記

八七八

卷一〇六 (金藏廣勝寺本)

煩

八七九

卷一〇七 (金藏廣勝寺本)

校勘記

八八〇

卷一〇八 (金藏廣勝寺本)

入法界品第三十九之二十一

八八一

卷一〇九 (徑山藏本)

校勘記

八八二

卷一〇一 (金藏廣勝寺本)

入法界品第三十九之十四

八八三

卷一〇二 (徑山藏本)

校勘記

八八四

目 錄

入法界品第三十九之二十二	九一二	校勘記
卷一一〇 (徑山藏本)	九二三	
入法界品第三十九之二十三	九二四	
校勘記	九三四	
刑	九三四	
卷一一一 (金藏廣勝寺本)	九三五	
入法界品第三十九之二十四	九三五	
校勘記	九四〇	
卷一一二 (徑山藏本)	九四一	
入法界品第三十九之二十五	九四五	
校勘記	九五一	
卷一一三 (金藏廣勝寺本)	九五二	
入法界品第三十九之二十六	九五七	
校勘記	九五七	
卷一一四 (金藏廣勝寺本)	九五八	
入法界品第三十九之二十七	九六三	
校勘記	九六四	
卷一一五 (金藏廣勝寺本)	九六四	
入法界品第三十九之二十八	九六四	
卷一一六 (金藏廣勝寺本)	九六九	校勘記
入法界品第三十九之二十九	九七〇	
校勘記	九七五	
卷一一七 (徑山藏本)	九七六	
入法界品第三十九之三十	九七八	
校勘記	九七八	
卷一一八 (金藏廣勝寺本)	九七八	
入法界品第三十九之三十一	九八八	
校勘記	九九三	
卷一一九 (金藏廣勝寺本)	九九四	
入法界品第三十九之三十二	九九四	
校勘記	九九九	
卷一二〇 (金藏廣勝寺本)	一〇〇〇	
入法界品第三十九之三十三	一〇〇〇	
校勘記	一〇〇六	
中華大藏經 (漢文部分) 校勘凡例	一〇〇七	



六度集解新華嚴經合論卷第一

唐子闡國三藏沙門真義譚陀譯經
善薩大乘山長者率遠云造論

詮六以真情之本体言無以爲深含識之流經法身而爲體只爲情生智隔想變體殊達本情亡知心體合今此大方廣佛華嚴經言照果三之不際示諸佛之果源其無所之不可以成其爲源也不可以行得斯亡不能行盡流成源本無功能隨緣自在者即此虛遙那也以本性爲先智隨根應大悲濟物以此爲名依本如是設其教澤流法身以潤含生於是寄住四天示形八相普裝場內現蘭若以始成普光法堂處報身人大定菩賢長子舉果德於藏身大殊小勇創菩蓋於金色以海印三昧周法界而降靈用普眼之法門藏屋中之刹海休正二報身土交參因果兩門體用相徹以釋天之更續或十刹以垂重取離垢之摩尼明十身而隱隱無邊刹境自他不隔於臺端十世古今始終不移於當念其爲屋也以虛空而爲量其爲小也處極微而無跡十方無卷區窟於小相之中織塵不舒含十方而非礙於普海果德殊分於五位之門常住法堂示進修於九天之上此方如是十刹同然聖眾如雲海會相入智凡不礙狀多鏡以納衆形彼此無妨若干燈而共一至此經總有四十品之勝云玄開果德之門百萬德之妙言咸舉佛華之行海十界十會闡十二之法門十處十方啓十通而疏

十辦出現品內示因果以結始終給孤獨圓利人天之明法界目連鷲子隔視聽於對顏六千比丘啓十明於路上毘堯東際五象咸臻古佛廟前同登十首善財發明

導首用彰來衆齊然又成五位法門具德行其執執令使啓蒙易達行無疑遠信首文殊之前正證妙峯之頂經過五衆成一百一十一之法門至慈氏之圓結會一生之佛果返述文殊之初文明以果同因後入普賢之妙身彰體用圓極此經名大方廣佛華嚴經者大以無方爲義方以理智爲功廣則毫利相合佛乃體用無作華喻行門可樂能數理事之功嚴卽依正莊嚴經卽貫穿趨縱世主妙嚴品者善薩示生皆爲世主同臻海會故號妙嚴品者類會同流法門均隔萬品此經總有四十品之勝與此品建初故稱第一是故言大方廣

佛華嚴經世主妙嚴品第一

釋此一部之經總作十門分別第一明依教分宗第二明依宗教別第三明教義差別第四明成佛同別第五明見佛差別第六明說教時分第七明淨土權實第八明攝化境界第九明因果延促第十明會教始終

第一明依教分宗

夫如來成道體應真源理事二門一多相微者境圓寂何法不周只爲器有差殊執儀各異始終漸頓隨根不同設法應宜大小別時分因果延促不同化佛本身施

九常隨佛衆部從別十所付法藏流通別
一同者入道方便法門略同
一淨土莊嚴別者如維摩經中所說淨土如
來以足指地即三千大千世界若干百千
並寶嚴飾譬如寶莊嚴佛無量功德寶莊嚴
土一切大眾歎未曾有而皆自見坐寶蓮華
而未說無盡佛刹莊嚴等事在一毫塵中如
華嚴經中具說十佛毗盧遮那境界十蓮華
藏世界海一一世界海有無盡世界海重重
相入一塵之內有無盡世界海圓滿十方佛
境界眾生境界平相涉入不相障礙衆寶莊
嚴如光如影廣如經說不但獨言三千大千
世界之所嚴淨

二佛身諸相報化別者說此華嚴經是三十
二大人之相化佛所說說華嚴經佛是九十
七大人之相及十華藏世界海微塵數大人
之相寶報如來之所說也三不思議德神通別
者如維摩經說菩薩神通以須弥之高廣內
芥子中能以四大海水入一毛孔又小室之
內能容三萬二千師子之座各各高八萬四
千由旬八千菩薩五百聲聞百千天人雜摩
詰置其右手掌擎其大眾往詣菴園又以手
斷取東方妙喜佛國來至此土示於大眾送
還本處如是神變且為權學三乘聲聞菩薩
等泉現如斯事何以故為權教聲聞菩薩等
故如華嚴經中以本法力法如是故能以一
塵之內含容十方一切佛刹衆生利惣在塵

中世界不小微塵不大十方世界所有微塵
一一塵中物皆如是如經所說菩薩於一小
衆生身中成等正覺廣度衆生其小衆生
知不覺當知佛以權教引小根故身外見佛
現神力而有來去等教之中以自本覺自
覺本心身心性相與佛無異無有內外往來
諸見是故毗盧遮那佛不移本處而身遍坐
一切道場十方來衆不移本處而隨化往都
無來去亦無神力所致是故經言法如是故
經中每言以佛神力及法如是力者以佛神
力權佛為尊法如是故推其本德都無變化
一一國刹身心性相以依本故不隨妄故大
小諸境皆如光如影平相映徹周遍十方都
無往來都無分限即一一衆生身諸毛孔之
內周遍十方不同權教以其神力分割往來
擊來送去致斯妄見違本法身障真妄提本
覺性晉是故淨名菩薩現斯神變已方陳實
教維摩經士觀身寶相觀佛亦然我觀如來
前際不來後際不去今則不住如阿彌陀佛品
廣明是故權教小見樂欲希奇菩薩據根粗
疏接引令生樂學方授實明不可以執化成
真恒迷惑眼識權就空遶入法界之門有作
之法難成隨緣無作易辦作者勞而無功不
作隨緣自就無功之功效不虛辛有功之功
功皆無常多劫精脩終歸敗壞不如一念緣
延無生起彼三乘權學等見

法門對根別者此維摩經對三乘根
四所設法門對根別者此維摩經對三乘根
來菩薩眾欲還本土請佛世尊願得少法如
來菩薩眾欲還本土請佛世尊願得少法如

來依根見彼菩薩滯於淨上悲智心劣便為
說法今學有盡無盡解脫門下文去不離大
慈不捨大悲深發一切智心而不忘忘教化
衆生終不厭倦於四攝法常念順行在諸禪
定如地試想於生死中如圓觀想見來求者
如善師想廣如維摩經說此經對三乘三乘
悲智未滿令且漸修增長悲智未即一下頓
示佛門未即說言十住初心便成正覺未即
示其廣大妙事皆有分割故
五語有來泉聞法別者如維摩經中所來有來
衆除文殊慈氏等大菩薩衆舍利弗等影響
聲聞餘外來衆物是三乘之中權學之衆設
有於中菩薩生於諸趣同類俱來皆欲成就
三乘權學漸令增進未說圓滿諸佛本乘如
華嚴經中所有來衆皆是乘如來乘佛智果
德自體法身具普賢行而隨彰現十方刹海
一切道場還成如來所乘本法無有一箇三
乘根機設有三乘根機如盲如聾不知不覺
猶如盲人對於日月猶如聾人聽大樂音如
業貧人對天寶藏如大福德處於地獄亦如
餓鬼臨大海邊三乘之器道力未窮未迴心
者常居法界海中諸佛境界與佛同體同身
終不能信不覺不知別求佛見如華嚴經云
佛子設有菩薩於無量百千億那由他劫行
來不恩議功德法門或特聞已不信不解不
願不入不得名為真實菩薩以不能生如來
家故當知聞法衆全別維摩經中婆娑之衆
彼此未亡香積諸徒垢淨全在當知此類並
是見解未真守一方之淨刹雖名菩薩謗道

九常隨佛衆部從別十所付法藏流通別
一同者入道方便法門略同
一淨土莊嚴別者如維摩經中所說淨土如
來以足指按地即三千大千世界若干百千
並寶嚴飾譬如寶莊嚴佛無量功德寶莊嚴
土一切大眾歎未曾有而皆自見坐寶蓮華
而未說無盡佛刹莊嚴等事在一毫塵中如
華嚴經中具說十佛毗盧遮那境界十蓮華
藏世界海一一世界海有無盡世界海重重
相入一塵之內有無盡世界海圓滿十方佛
境界眾生境界平相涉入不相障礙衆寶莊
嚴如光如影廣如經說不但獨言三千大千
世界之所嚴淨

二佛身諸相報化別者說此華嚴經是三十
二大人之相化佛所說說華嚴經佛是九十
七大人之相及十華藏世界海微塵數大人
之相寶報如來之所說也三不思議德神通別
者如維摩經說菩薩神通以須弥之高廣內
芥子中能以四大海水入一毛孔又小室之
內能容三萬二千師子之座各各高八萬四
千由旬八千菩薩五百聲聞百千天人雜摩
詰置其右手掌擎其大眾往詣菴園又以手
斷頭東方妙喜佛國來至此土示於大眾送
還本處如是神變且為權學三乘聲聞菩薩
等泉現如斯事何以故為權教聲聞菩薩等
故如華嚴經中以本法力法如是故能以一
塵之內含容十方一切佛刹衆生利惣在塵
而未說無盡佛刹莊嚴等事在一毫塵中如
華嚴經中具說十佛毗盧遮那境界十蓮華
藏世界海一一世界海有無盡世界海重重
相入一塵之內有無盡世界海圓滿十方佛
境界眾生境界平相涉入不相障礙衆寶莊
嚴如光如影廣如經說不但獨言三千大千
世界之所嚴淨

中世界不小微塵不大十方世界所有微塵
一一塵中物皆如是如經所說菩薩於一小
衆生身中成等正覺廣度衆生其小衆生
知不覺當知佛以權教引小根故身外見佛
現神力而有來去等教之中以自本覺自
覺本心身心性相與佛無異無有內外往來
諸見是故毗盧遮那佛不移本處而身遍坐
一切道場十方來衆不移本處而隨化往都
無來去亦無神力所致是故經言法如是故
經中每言以佛神力及法如是力者以佛神
力權佛為尊法如是故推其本德都無變化
一一國刹身心性相以依本故不隨妄故大
小諸境皆如光如影平相映徹周遍十方都
無往來都無分限即一一衆生身諸毛孔之
內周遍十方不同權教以其神力分割往來
擊來送去致斯妄見違本法身障真妄提本
覺性晉是故淨名菩薩現斯神變已方陳實
教維摩經士觀身實相觀佛亦然我觀如來
前際不來後際不去今則不住如阿彌陀佛品
廣明是故權教小見樂欲希奇菩薩據根粗
疏接引令生樂學方授實明不可以執化成
真恒迷惑眼識權就空遶入法界之門有作
之法難成隨緣無作易辦作者勞而無功不
作隨緣自就無功之功效不虛辛有功之功
功皆無常多劫精脩終歸敗壞不如一念緣
延無生起彼三乘權學等見

乘依根見彼菩薩滯於淨上悲智心劣便為
說法今學有盡無解脫門下文去不離大
慈不捨大悲深發一切智心而不忘忘教化
衆生終不厭倦於四攝法常念順行在諸禪
定如地試想於生死中如圓觀想見來求者
如善師想廣如維摩經說此經對二乘三乘
悲智未滿令且漸修增長悲智未即一下頓
示佛門未即說言十住初心便成正覺未即
示其廣大妙事皆有分割故

五語有來泉聞法別者如維摩經中所來
衆除文殊慈氏等大菩薩衆舍利弗等影響
聲聞餘外來衆物是三乘之中權學之衆設
有於中菩薩生於諸趣同類俱來皆欲成就
三乘權學漸令增進未說圓滿諸佛本乘如
華嚴經中所有來衆皆是乘如來乘佛智果
德自體法身具普賢行而隨彰現十方刹海
一切道場還成如來所乘本法無有一箇三
乘根機設有三乘根機如盲如聾不知不覺
猶如盲人對於日月猶如聾人聽大樂音如
業貧人對天寶藏如大福德處於地獄亦如
餓鬼臨大海邊三乘之器道力未窮未迴心
者常居法界海中諸佛境界與佛同體同身
終不能信不覺不知別求佛見如華嚴經云
佛子設有菩薩於無量百千億那由他劫行
六波羅密修習種種甚提分法苦未聞此如
來不思議功德法門或特聞已不信不解不
願不入不得名為真實菩薩以不能生如來
家故當知聞法衆全別維摩經中婆娑之衆
彼此未亡香積諸徒垢淨全在當知此類並
是見解未真守一方之淨刹雖名菩薩謗道